



天文資料

2020年 1月号

令和元年度 第10号 (1月号)

令和2年1月1日

発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館



<新年 あけまして おめでとうございます>

「平成」から「令和」に移った1年が終わりました。

皆様、あけましておめでとうございます。本年も少年科学館をよろしくお願いたします。

2020年の星空は、7つの一等星が輝く華やかな星空が迎えてくれます。

先陣を切って昇ってくるぎよしゃ座とおうし座は、前号で紹介しました。今月はいよいよ真打オリオン座の登場です。きれいに並んだ三つ星と、それを囲むように4つの明るい星が輝く姿は誰もが目を引かれると思います。三つ星を赤く輝く一等星ベテルギウスと青白く輝く一等星リゲルを、平氏と源氏に見立てる地方もあるそうです。



国立天文台 HP より

その南には、恒星の中で全天一の明るさを誇るシリウスが輝くおおいぬ座があります。シリウスは「焼き焦がすもの」という意味です。

オリオン座の東側には、こいぬ座の一等星プロキオンが輝いています。このプロキオンとオリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウスを結ぶと三角形ができあがりますが、これが「冬の大三角」です。この中を冬の天の川が流れています。

こいぬ座の上には一等星ポルクスと二等星カストルが輝くふたご座があります。似たような明るさの星ですが、ポルクスは赤っぽい色をしているので区別は簡単にできるでしょう。

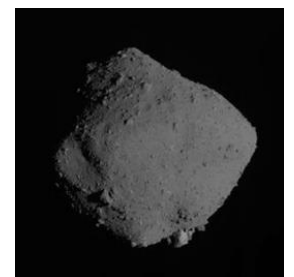
夕方の南西の空には、金星も「宵の明星」として輝いています。冬の星空、防寒対策をしっかりと楽しく観望してください。

<はやぶさ2がリュウグウを離れ地球帰還へ>

12月3日11時頃、小惑星探査機はやぶさ2がリュウグウを離れ、地球に帰還するためイオンエンジンを点火しました。点火はとてもスムーズにいったようで良かったです。(担当者は極度の緊張状態だったそうです)

イオンエンジンに課せられた使命は「 ΔV 計画」の死守です。リュウグウで採取したサンプル(カプセル)を地球に届けるには「エントリー回廊」と呼ばれる細い軌道に探査機を入れなければなりません。この軌道から外れるようだと、サンプルは地球に届きません。順調にいけば2020年の終わりごろ、オーストラリアの砂漠にカプセルが届きます(落ちてきます)。

※ ΔV : 探査機が軌道を変える際の速度調整のこと。細かい調整が必要とされる。



さらば リュウグウ

1月11日の未明に半影月食が起こります。本影に近い部分が少し暗くなる程度ですので、気づかないかもしれません。食の最大は午前4時10分ごろです。見るには時間的に厳しいですね。